

廃消火粉末を肥料に再生

モリタ

年間1000tを販売へ

消火器メーカーのモリタ
(大阪市、新村鋭男会長、
☎06・6756・010
0)は、従来産廃として埋め
立て処分していた廃消火薬
剤を再生、肥料原料「モリ

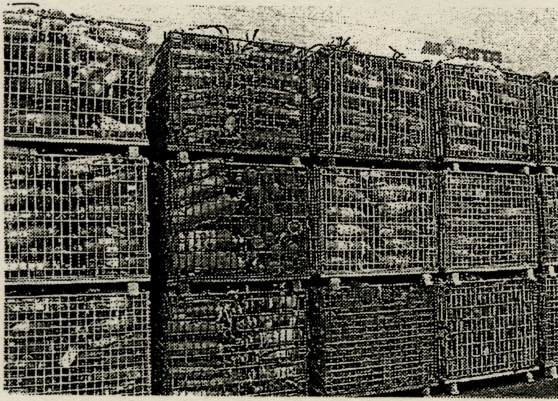
タイ号」として販売してい
る。肥料メーカーへの納入
をすでに始めており、する
ほか、液肥の補助剤として
利用も進む。昨年度には野
菜生産で実証試験を終え、

今年度は稲
作に使用し
ていく。
期限切れ
などで回収
した消火器
は、北海道
と沖縄を除
いた全国か
ら同社上野
工場(三重
県上野市)
に搬送され
る。消防火
では製造か
ら5年後の
点検が定め

られており、メーカー側で
も耐用期限を8年としてい
る。処理費はユーザー負担。
メーカーや種類に関係なく
回収している。
上野工場では大半を占め
るABC型消火器のみ薬剤
を回収する。消火器は高圧
ガスが充填されているた
め、専用機で薬剤を取り出
し産廃業者へ処理を委託。
レバーが鉄さびなどで作動
不能の場合は、ピンホール
状の穴を開け消火器内を減
圧、手解体して粉末を回収
する。

消火薬剤は昨年度、約1
300tを回収。うち10
00t程度を肥料原料に加
工している。薬剤の再生利
用については、帯広畜産大
および北海道立工業試験場
と共同研究。薬剤を顆粒状
に加工し、防湿機能を取り
除くことで肥料原料化する
ことに成功した。2000
年10月には農林水産省から
肥料登録の認可を受け、現
在は肥料メーカーに売却。
他物質を配合、肥料として
一般量販店などで販売して
いる。

肥料原料は①窒素やリン
を多く含有する②リンはパ
ーシジン材と比較し半分程度
の価格——などの特長を持
つ。昨年度には福岡県椎田
町が着目し、レタス・麦・
高菜の3種で実証試験を行
い成功を収めた。モリタ側
は肥料原料について、「リン
以外にも有効な成分が含ま
れており、効果が期待でき
る(船越康夫係長)」として
おり、工場見学に訪れた椎
田町側も「廃消火薬剤の再
生利用により循環型社会形
成の促進にも寄与できる」
(田村啓一係長)と積極的
な姿勢を示している。今年
度は稲作に利用、効果につ
いてデータ採取を行ってい
く。



回収された消火器の山

点検が定め
ら5年後の
では製造か
から5年後の
点検が定め
ら5年後の
では製造か
から5年後の
点検が定め